平成26年７月１日発行　（第38号）

桜竹梅

平成26年　夏号

発行所　医療法人 仁栄会
〒780-0066
高知県高知市比島町４丁目６番22号
TEL　088-823-2285
FAX　088-824-2363
発行者　島津　栄一
ホームページ
http://www.shimazuhp.jp/

日本医療機能評価機構

ご挨拶

院長　三宅　晋

「病院解体　雑感」

病院の東、交通公園の桜も散り、休日のにぎわいは少し落ち着いてきましたが、島津病院では逆に４月の下旬から途端に騒がしくなりました。病院前の民家３軒、西側民家１軒の解体作業が始まり、いよいよ新病院改築計画が動き始めました。病院裏に管理棟が完成し、また歯科医師会館跡地に仮の病棟もでき、認可もおりました。５月の連休に院外からのご協力も仰ぎ、職員は休日出勤で、医局・看護部・薬局・事務部・通所リハビリテーションの管理棟への移転を行い、引き続いて、一部入院患者の仮病棟への移動が行われました。

現在は西棟一部解体、透析室の改修工事がされており、ドリルでコンクリートをはがす音や壁を崩す音で終日大変うるさい日が続いています。旧病棟にまだ残られている患者様や見舞いに来院されたご家族様、また病院周囲の住民の方に大変騒々しい思いをさせています。続いて東棟が解体されて、最後に本館の解体が行われます。新病院の完成は平成28年８月の予定です。この長い期間、できるだけ皆様が不快な思いをされないように、十分な配慮と、慎重な作業を業者の方にお願いしています。よろしくお願い申し上げます。

病院の歴史を申し上げますと、昭和48年３月、島津外科胃腸科として18床の本館が新設されました。昭和56年６月東棟が増設、一般病床50床となり、医療法人仁栄会島津病院が設立され、続いて、リハビリテーション科増設、通所リハビリテーション開設のため、平成８年西棟が増設、現在の病院の建物の概観が完成いたしました。今回の解体は島津病院の41年の歴史を逆にさかのぼるかのごとく西棟から始まり、東棟、本館と解体が順次予定されています。日々解体されていく各棟を目にし、理事長をはじめ、開院時からの職員で定年後も何らかの形で勤務を続けていらっしゃる方、長く勤務されておられる職員の方々にとって、今までの歴史を顧み、皆様方の気持ちは、ひとしお感慨深いものがあると思います。

私ごとになりますが、平成23年３月、倉敷の百年も続いた実家の家屋を解体し、私たち老夫婦の終の棲家となるであろう家を改築いたしました。長年蓄積された舞い上がる埃を見つめ、解体されていく我が家を見つめながら、私や兄弟や父や母、祖母や祖父、「三宅の家」のすべての歴史が現実から消滅してゆくのを感じました。現実が消滅されていくさ中にあって、黒くすすけた天井の棟木や傷ついた柱、処分してしまう古い机や、家具どれをとっても懐かしく、庭の石や、木々、草花雑草までも愛おしく思われ、戸惑いと後悔の渦の中で、自然と涙が出ていました。

建物の解体とは、建物の中に人がいて、一人一人の生活があり、それぞれの喜びと悲しみと夢の歴史がいっぱい詰まった「現実」が消滅されて行くことであります。「思い出」として心の中だけの記憶に変わる、まさにその時であり、そして再び全く新しい現実の世界を始めることでもあります。新しく建てられた、管理棟の窓から、解体されていく旧島津病院の建物を見ながら、この原稿を書いています。次の新しい現実の歴史が今始まっていることをひしひしと感じています。今のこの現実が、素晴らしい歴史の始まりであることを心から祈念せずにはおれません。

平成28年８月新病院が完成いたします。私たち職員一同、新たな気持ちで夢を持って業務に取り組みます。これからもご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

セカンドライフ Second Life

「転ばぬ先の杖 ～Dr.モリの健康講話」

－第十回　肺炎　高齢者死因の３割－

高知大学名誉教授　森　惟明

肺炎は高齢者の直接的な死因の３分の１を占めます。高齢者にとっては恐ろしい病気です。

免疫力が低下し、体力がなくなった高齢者は、気管に上気道分泌液、唾液、食物などが入ってしまっても、咳き込みが弱く外に出すことができません。そのまま気管支まで入れてしまう誤嚥（ごえん）を起こし、その結果、肺炎を起こしてしまいます。寝たきりの人なども食べたものや唾液、胃液などを誤嚥しやすくなります。

若い人の肺炎が細菌やウイルスによって発症するのに対し、高齢者の肺炎の多くは異物の誤嚥によって起こる「誤嚥性肺炎」です。

高齢者の肺炎の特徴は症状がはっきりせず、まちまちで、熱なども若い人ほどでないことです。無症状に近く、急速に悪化することもあります。定型的な症状・所見に乏しいので、見逃しやすいのです。

食欲不振や全身倦怠（けんたい）感などが唯一の症状で、急速に意識障害に落ちることもあります。胸部エックス線写真で明らかな肺炎像が現れる以前に死亡することもあります。

だから、早期発見・早期治療が重要です。食欲が急に落ち、全身がけだるくなるなどの症状が現れたときは、熱はなくても、一応肺炎を疑って、かかりつけ医に胸のエックス線写真を撮ってもらうことが欠かせません。

診断にあたっては、呼吸器系の局所的所見よりも、患者の一般状態の変化をより重視する必要があります。高齢者肺炎の予後は、他の臓器機能に左右されるといえます。

高齢者は、肺炎を誘発し悪くさせる因子として多くの臓器の障害を持っているため、治療は困難です。肺炎そのものの処置と並行して、多臓器障害の処置も重要となりますので、入院が必要になります。

肺炎に対する治療としては、幅広い効果をもつ抗生物質を組み合わせて使い、原因菌がはっきりした時点で最適な薬に切り替えます。しかし、高齢者では原因菌の同定が困難な場合が少なくありません。一般療法としては、水分の補給、酸素投与、理学療法などを行います。

予防は、風邪を引かないことが第一です。風邪が流行しているときは不要な外出を避けましょう。日頃から栄養に注意し、体力をつけておくことです。

食後すぐに横になると、食べた物が胃から逆流して誤嚥が起こりやすくなります。なるべく一休みしてから横になるようにしましょう。

URL http://morikoreaki.sakura.ne.jp

「中高年に多い 25 の病気を見逃さないための健康評価ハンドブック」

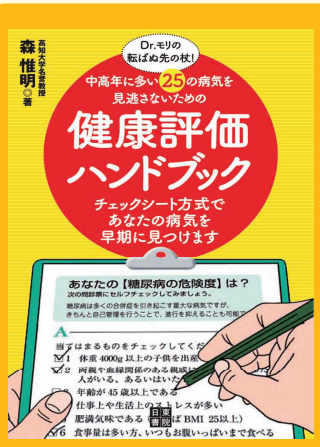
本書は、メールマガジン「セカンドライフ支援講座」をもとに「高齢者の身体的自立」について執筆したものです。

本書では、「早期発見」「早期治療」の見地から、ちょっとした自覚症状をセルフチェック方式で分析し、中高年の方のかかりやすい25の病気の可能性を、読者自ら判断できる構成にしています。

自宅での健康管理で留められるのか、まずはお医者さまに相談するべきなのか、あるいは即、入院治療が必要なのか、等々、ドクター森こと、森惟明・高知大学名誉教授が適切にアドバイス！
健康的なセカンドライフをサポートする「転ばぬ先の杖」として、中高年の方の必読書です！

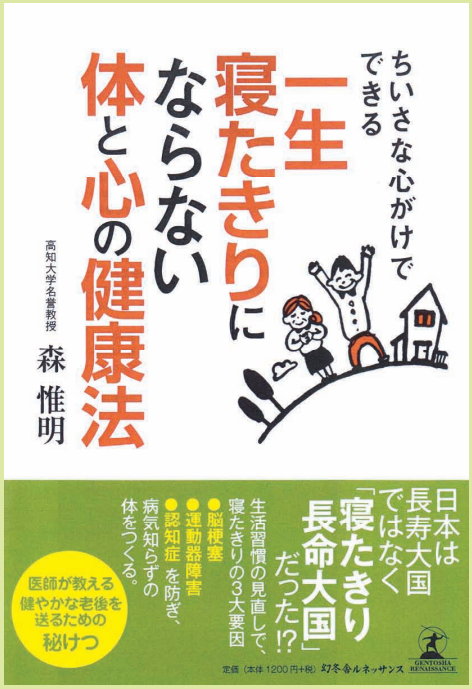
【掲載している25の病気】

●生活習慣病	高血圧症／脂質異常症／糖尿症／動脈硬化症
●脳神経系の病気	脳梗塞／脳出血／慢性硬膜下血腫／認知症／パーキンソン病／老人性うつ病
●循環器系の病気	不整脈／狭心症と心筋梗塞
●呼吸器系の病気	慢性閉塞性肺疾患（COPD）／肺がん／肺炎
●消化器系の病気	胃がん／大腸がん／肝臓がん
●泌尿器系の病気	慢性腎臓病（CKD）／前立腺肥大症
●関節・骨の病気	骨粗しょう症／腰部脊柱管狭窄症／変形性膝関節症
●目の病気	高齢者の目の病気
●歯の病気	歯周病



発行：日東書院　定価：1,200円＋税

新 刊 書 紹 介



ちいさな心がけでできる
一生寝たきりにならない体と心の健康法

発行：幻冬舎
定価：1,200円＋税

著者からのメッセージ

今後、多くの人が求める理想の加齢状態である「健やかな老後」を送るには、どのようにすればよいか、すなわち、どのようにして「病まない体」を作り、「寝た切り」とならないようにするかが問われています。

本書では、一生寝た切りとならぬ「健やかな老後」が、「小さな心がけ」で実現できることを詳述しました。

本書が、介護される予備軍の中高年、高齢者を介護する人など幅広い層の人々に、「健やかな老後」を送るための指針としてお役に立てればこの上もない幸いです。

森　惟明

※本書は、高知県では金高堂書店、またはアマゾンにてお求めいただけます。

私のお気に入り紹介

『医学的根拠とは何か』

副院長　武田 功

読んだ本の内容を忘れるだけでなく、読んだことすら忘れることの多い私ですが、この本はとても印象が強く心に残る内容でした。結論から言えば医学的根拠とは数量化(統計)です。著者は医学部の環境生命科学研究科教授で、疫学を専門としています。疫学では統計が重要な役割を果たしていますので、数量化を重視するのは当然とも言えます。

本書では、医師を直感派・メカニズム派・数量化派に分類しています。直感派は、医師としての個人的な経験を重視します。メカニズム派は、動物実験や遺伝子工学など生物学的研究の結果を重視します。数量化派は、統計学を用いて人間のデータを数量化して分析した結果を重視します。これらを互いに排他的と見るのは誤りとしていますが、最終的にはデータを数量化しなければ評価できないことを理由に数量化の重要性を説いています。すなわち直感に基づいた医学から一般法則を求めるには、患者の観察結果を数量化する必要があるし、メカニズムについても、結局は人のデータを数量的に分析しなければ、そのメカニズムが有効かどうかわかりません。

数量化が人類を病気から救った例もあげています。医師が手洗いをすればしないときよりも産褥熱の発生が減ることや、クリミア戦争では戦闘による死亡よりも、野戦病院での病気による死亡の割合が高いことを示したナイチンゲールなどです。このような分析はアマチュアからプロの仕事へと変わっていき、タバコと肺癌、コレステロールと心血管疾患などの関係など、今日では当たり前と思われることも疫学で示されました。

データを読めないエリート医師の例もあげられています。「O157による食中毒の原因が、カイワレ大根である可能性が95％である」に対しては、95％の根拠となるデータがない。「発がん物質にはタバコ以外にもリスクの高いものもあるのに、タバコががんの犯人のように攻めるのはおかしい」に対しては、データが読めないのでむしろ何でも放言できると切り捨てています。他にも実在の専門家を名指しで批判しているのは痛快でもありましたが、そこまで言っても良いのかと思いました。

本の内容とは少しずれますが、私自身も過去に何度か自験例をまとめて学会発表をしたことがあり、数量化することの重要性は身にしみています。すべて自分が経験しているにもかかわらず、実際に集計してみると集計前の予想とずれていることは多々ありました。「経験的に○％」と言う表現が当てにならないことは、実際に数量化してみるとよくわかります。経験や印象でものを言うのではなく、数量化して根拠を示さなくてはいけないと思い直させてくれた本でした。

私のお気に入り紹介

水　泳

グループホーム やすらぎ　常石 晶子

バトンを受け継ぎましたが、本の紹介よりも熱い内容との要望に、語りだすと止まらない「水泳」について書き綴ります。

ここでいう水泳とは競泳のことです。コンマ何秒を争うスプリント競技であり、一瞬の油断や集中力が途切れると、結果はシビアにタイムに現れ、敗者と勝者の差ができる競技です。

小学校の頃、スイミングスクールにおいて選手コースでしごかれ、試合にも出ましたが、目標が曖昧だったのでしょうか、華やかな結果は一つもなく、しばらく水泳から遠ざかっていました。

しかし12年ほど前に、マスターズ水泳という年齢区分に分けられた生涯スポーツと出会い、「同年代の中では勝ちたいなあ。」という気持ちが、水泳魂に火をつけたのでしょう。今度は自ら練習メニューを組み立て、そして試合を目標に年々タイムを更新するという結果も得ることができました。自分でいうのもなんですが、勝ち負け以上に、試合後の達成感は何ものにも代えがたいもので、生きがいを得たような気持ちです。また、いかに速く泳げるのか？と問い詰めると、そこには効率的な動きが求められ、「入水動作→水をキャッチする（つかむ）→プッシュオフ（押し出す）→リカバリー」という一連のスムーズな動きが要求されます。そして、それを維持する体幹の強さやキックの正確さも頭に入れながら、常に頭を使って泳がなければなりません。「何事にも理論がありそれを遂行することで結果が出る。」そして結果が満足でなくともその過程を楽しみ、次の課題に取り組むことで、一つ一つ乗り越えられることも水泳から学んだことです。最近は、水泳でつながった仲間と試合などで出会い、練習を共にし、知識を共有することも喜びです。

2012年にスポーツマスターズという30歳以上の国体が高知県で開催されました。水泳競技の100mバタフライに出場し、全国大会で初の表彰台に上がることができました。この日のために頑張っていたので、喜びは想像以上のものでした。リレーでも高知県に貢献でき、県のスポーツ優秀賞に選ばれるなど、結果が実を結び、この歳では味わえない嬉しさをかみしめました。しかし、翌年北九州で開催された同大会はおごりでしょうか、惨敗でした。それでも失敗がまた糧になります。今年こそはと続けることが大切だと練習に励んでいます。

施設便り

端午の節句飾り

小規模多機能型居宅介護 しおた　藤崎　敬仁

みなさんこんにちは。日中は汗ばむ季節となりましたが、小規模多機能型居宅介護しおたでは、３月のお雛様の飾りに続いて、端午の節句飾りをしました。甲冑飾りに凛々しい金太郎など、なかなか立派な飾りとなりました。

また５月５日の食事は素敵なこいのぼり弁当を食堂の栄養士さんたちが作ってくださり、見て楽しみ、食べて楽しむ節句となり、たくさんの笑顔をいただくことができました。

■皆で飾り付けを手伝っていただき、手染めの豪快な大旗（フラフ）をバックに菖蒲の花も添え、それぞれ笑顔で記念撮影をしました。

■節句の日の昼食はしおた食堂さん力作の鯉のぼりのお寿司。海苔やかまぼこなど、とても細かくできていて、食べるのも勿体ない、と皆さん笑顔で食べられました。

■しおたでは季節ごとの手作りの飾り作りをしています。今回は鯉のぼりの貼り絵と紫陽花の折り紙を使ったタペストリーができ上がりました。ちぎった色紙をこつこつと貼り付け、いくつもの小さな紫陽花の折り紙をたくさん使い、季節を感じる仕上がりとなりました。

わんぱーくこうち

みやびの里　藤原　愛子

５月の末４便に分かれて、『わんぱーくこうちアニマルランド』に外出しました。

25日、日曜日はアニマルランドを一回りした後、混雑をさけて水辺散策広場の木陰で鯉に餌やりをして楽しみました。皆様童心に返って鯉が寄ってくるのを眺められていました。

29日、木曜日は園内が空いていたのでゆっくり小動物と触れあい滝の近くの休憩所で水の音を聞きながらゆっくりと涼みました。

梅雨前だというのに両日とも夏日のようで気温もぐんぐん上がってきたため、売店で購入したかき氷やアイスクリンが大好評でした。職員も便乗させていただき木漏れ日の下でくつろぎのひとときを堪能しました。水分補給にも心がけ、楽しいお出かけになりました。

回転寿司

みやびの里　浜田　優子

４月中旬には昼食に、利用者様・スタッフの10人ほどで回転寿司へ出掛けました。

数日前より食べたい物を決めて楽しみにされていた方、あいにくの雨天で中止かと危ぶまれたものの決行となり喜ばれる方々、皆様楽しみにされているのが伝わってきてこちらも嬉しくなりました。

普段は笑顔の少ない方も多種多様なお寿司に目を奪われ嬉しそうな笑顔を見せてくださり、少食の方もいつになく沢山召し上がられていました。とても好評だったので次の機会を作りたいと考えています。

グループホーム　やすらぎ

［平成26年4月～平成26年6月の行事］

☆お花見

「岡豊城」までドライブし満開の桜を観ました。桜の花びらが舞う中で記念写真を撮りました

☆わんぱーく高知

「動物園」で動物と触れ合い、綺麗に咲き誇る「チューリップ」と記念写真を撮りました。

☆端午の節句

小規模しおたにお邪魔し立派な兜や飾りを見せて頂き写真をとりました。ホームに戻り「柏餅」でティータイムを楽しみました。

☆母の日

女性の入居者様に日頃の感謝を込めて「カーネーション」を贈りました。ティータイムには、特製のバームクーヘンを楽しみました。

☆牧野植物園

ご家族の方も一緒に牧野植物園に出掛けました。「胡蝶蘭」の前で写真を撮り、水に浮かぶ「蓮の花」や「ハイビスカス」など楽しく観賞しました。

☆誕生日会

４月から毎月お誕生日会を開くこととなりました。「ケーキ」「ゲーム」「プレゼント」でお祝いしました。

外来診察表

（平成26年7月1日現在）

午前（9：00～12：00）

診察科	月	火	水	木	金	土
内科	三宅・大﨑(多)	大﨑(史)・大﨑(多)	三宅・大﨑(史)	伊東・岩﨑	三宅・大﨑(多)	三宅・伊東
外科	島津	酉家(佐)	武田	公家	島津	公家
整形外科	兼松	島津(裕)	兼松	島津(裕)	島津(裕)	兼松
脳外科	森			森		
泌尿器科 血尿外来	杉田	杉田	杉田		杉田	井上(高知大学)
循環器科		小田(予約制)	小田(予約制)			
消化器科（内視鏡）	公家	公家	公家	公家	公家	公家

午後（14：00～18：00）

診察科	月	火	水	木	金	土
内科	三宅・伊東	大﨑(史)	三宅・大﨑(史)	伊東	三宅・伊東	
外科	宗景(高知大学)	公家	北川(高知大学)	武田	公家	
整形外科	兼松	兼松	兼松	島津(裕)	島津(裕)	
脳外科						
泌尿器科 血尿外来	杉田	杉田	杉田		杉田	
循環器科		小田(心エコー外来予約制) 第１・第３のみ	小田(予約制)			
放射線科					久保田(高知大学) （所見のみ）	
消化器科（内視鏡）						

○ 三宅院長（内科）は午後から不在の場合がありますので、事前にお電話でご確認をお願いします。
○ 担当医が不在の場合がありますので、事前にお電話でご確認をお願いします。
○ 休診日は土曜の午後・日曜・祝祭日・年末年始です。

患者様の権利

一、個人として常にその人格を尊重される権利があります。
二、良質な医療を平等に受ける権利があります。
三、個人のプライバシーが守られる権利および私的なことに干渉されない権利があります。
四、自分が受ける治療や検査の効果や危険性、他の治療法の有無などについて、わかりやすい説明を理解できるまで受ける権利があります。
五、自分の治療計画を立てる過程に参加し、自分の意思を表明し、自ら決定する権利があります。
六、自分が受けている医療について、知る権利があります。
七、患者様自らが、医療従事者と共に力をあわせて、これらの権利を守り発展させる責任があります。

病院理念

「病む人への思いやりをもって、安全で安心のできる高度な医療を提供します。」

医療方針

一、心ある医療を介護サービスと連携して提供し、地域社会に貢献する。
一、生きることへの共感、病む人への思いやりを持って医療に従事する。
一、当院の専門としている医療部門においては、医療レベルの向上に努力し、先進的医療を提供する。

診療時間

月～金	9:00～18:00
土	9:00～12:00
日・祝祭日	休診

併設事業

- 通所リハビリテーション
- 居宅介護支援

診療科目

- 外科
- 内科
- リウマチ科
- 糖尿病内科
- 消化器外科・内科
- 脳神経外科
- 泌尿器科
- 人工透析内科
- 腎臓内科
- 肛門外科
- 皮膚科
- 整形外科
- 循環器内科
- リハビリテーション科

関連医療・介護機関

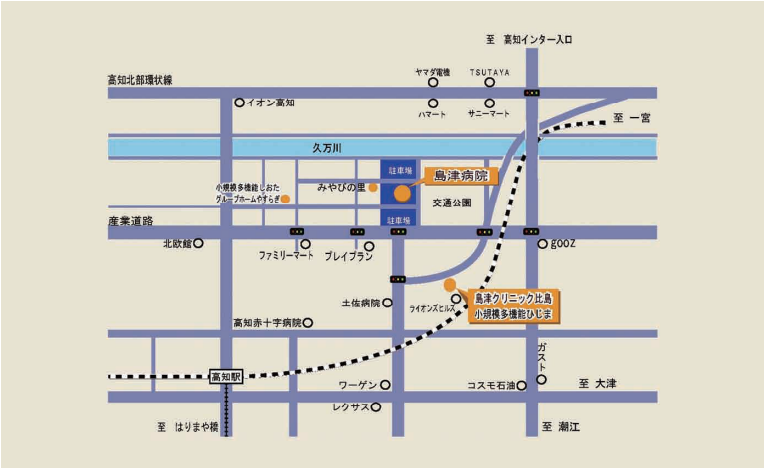
医療法人 仁栄会	島津クリニック	〒785-0013 高知県須崎市西古市町3番15号	TEL.0889-43-0003
医療法人 仁栄会	島津クリニック比島	〒780-0066 高知市比島町2丁目10番31号	TEL.088-826-6230
医療法人 島津会	幡多病院	〒787-0013 高知県四万十市右山天神町10番12号	TEL.0880-34-6211
医療法人 成仁会	快聖クリニック	〒780-8050 高知市鴨部1085番地1	TEL.088-850-0038
複合介護施設	つくしの里	〒780-8050 高知市鴨部1079番地1	TEL.088-850-0083
グループホーム	やすらぎ	〒780-0065 高知市塩田町19番26号	TEL.088-875-3500
グループホーム	かがやき	〒787-0014 高知県四万十市駅前町5番20号	TEL.0880-31-0607
小規模多機能型居宅介護	ひじま	〒780-0066 高知市比島町2丁目10番31号	TEL.088-826-6232
小規模多機能型居宅介護	しおた	〒780-0065 高知市塩田町19番26号	TEL.088-875-3718
高齢者専用賃貸住宅	ひじま	〒780-0066 高知市比島町2丁目10番31号	TEL.088-826-6233
特定施設	みやびの里	〒780-0066 高知市比島町4丁目6番9号	TEL.088-822-8855
大川筋診療所		〒787-1220 高知県四万十市川登1106番地4	TEL.0880-38-2017
小規模多機能型居宅介護	おおがた	〒789-1931 高知県幡多郡黒潮町入野3017番地2号	TEL.0880-43-1023
高齢者専用賃貸住宅	くろしお	〒789-1931 高知県幡多郡黒潮町入野3017番地2号	TEL.0880-43-1023

Japan Council for Quality Health Care
日本医療機能評価機構

医療法人 仁栄会

島津病院

院長 三宅 晋

〒780-0066 高知市比島町4丁目6番22号

TEL 088-823-2285 FAX 088-824-2363